

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 299

事業名	市民養老金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 -3005			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	老人福祉費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__			
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命__[健康]			
	施策目標	高齢者の生きがい活動や就業の場、癒し・消費の場を広げる			
該当する事業について「 」を選択	施策的事業	業務委託	負担金補助		

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 南あわじ市内に住所を有し、昭和3年9月16日以前に生れた者で平成20年9月15日現在で満80歳以上の者を対象 対象人数(人) 4,726	
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	永年にわたり、社会に貢献してきた高齢者に対し、感謝と長寿を祝福することで生きがいをもって生活を送って頂きたい。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 9月15日現在で満80歳以上の高齢者を対象に地域振興券3,000円分をお贈りする。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 9月の敬老月間において、毎年長寿を祝福することで高齢者を敬愛し、また福祉への関心を高めることとしている。島内の市ではいずれも77歳(喜寿)88歳(米寿)99歳(白寿)を対象にしている。兵庫県の高齢者祝福事業については20年度から88歳・100歳の祝福を取りやめ、当該年度に100歳を迎える方を対象にした祝100歳高齢者のみを対象事業に見直しをしている。	
事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ( )		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧緑 町(80歳以上で3ヶ月在住の者に5千円) 旧西淡町(88歳で1万円、100歳で10万円) 旧三原町(80歳以上で1年在住の者で80歳~90歳未満8千円、90歳以上1万円、100歳以上10万円) 旧南淡町(77歳で3千円) 新市から 17年度 満80歳以上を対象に5千円 18年度~ 満80歳以上を対象に3千円		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	対象者数				指標単位
						人
	指標説明 (指標算出方法等)	平成20年9月1日現在で南あわじ市に住民票のある満80歳以上				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	4,572	4,889	4,800	5,325	
	実績値	4,316	4,482			
	達成度 (%)	94.4	91.7	-	-	
	目標値設定の考え方	満80歳以上の対象者				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	祝い金支出額				指標単位
						千円
	指標説明 (指標算出方法等)	対象者一人に対し、3,000円の地域振興券を支給				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	13,716	14,667	14,400	15,975	
	実績値	12,948	13,446			
	達成度 (%)	94.4	91.7	-	-	
	目標値設定の考え方	18年度 4,572人×3,000円 = 13,716,000円 19年度 4,889人×3,000円 = 14,667,000円 20年度 4,800人×3,000円 = 14,400,000円 21年度 5,325人×3,000円 = 15,975,000円				
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	直接事業費 (千円)	12,948	13,446	14,400	14,400	
	市民養老金	12,948	13,446	14,400	14,400	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	12,948	13,446	14,400	14,400	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	3,588	3,612	3,348	3,348	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9	
	事業量1(事業に要した日数)	60	60	60	60	
	事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2	
年間経費([A]+[B])	16,536	17,058	17,748	17,748		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	3.5	3.6	3.8	3.8		
受益者人数(4,800)1人当り経費(千円)	3.4	3.6	3.7	3.7		
経費に関する補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	94.4	91.7	-	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) リストの整理から配布までの間に異動がリアルタイムで変更があるため、人数の把握に苦慮した。また、在宅・施設・病院など居所が様々であるが、できるだけ短期間に支給できるよう努めた。対象者全員に支給できている。					自己評価 (5点評価)
						3
有効性	成果指標目標達成度	%	94.4	91.7	-	-
	成果向上率	%	-	3.8	-	-
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 長寿を祝福されることで新たな生きがいを持って頂き、また福祉への関心を高めることにつながりを持つ。					自己評価 (5点評価)
						3
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	3.8	3.8	-	-
	効率性増減率	%	-	0.7	-	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 高齢者が年々増大していく傾向であり、現状のまま続けていくことは、事業費の増加が懸念される。					自己評価 (5点評価)
						2
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 敬老月間において敬老の日・老人の日等をお祝いすることは、長年社会貢献された高齢者に対して感謝の気持ちを伝えることであり、また、今後益々の長寿を祝い、激励することで、生きがいを持って生活を送って頂けることが必要である。					自己評価 (5点評価)
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析					
	今後、対象者が増加する傾向があるため、対象年齢及び祝金額の見直しを図る必要がある。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>			

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>長年社会貢献された高齢者に対して感謝の気持ちを伝えること、また、今後益々の長寿を祝い、激励することで、生きがいを持って生活を送って頂けるよう事業の継続は必要である。</p>	<p>高齢者人口が増加傾向にある中、年々経費が増加することが想定されるので、高齢者の心情を汲みながら、段階を踏まえて見直しをしていく必要がある。</p>
(現状維持以外の改善方法)		<p>南あわじ市長寿祝福事業の対象とする基準年齢を変更する、また、経費面では感謝の気持ちを伝える程度の祝金額に見直しを図るなど、さらに検討をしていく必要がある。</p>
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p><b>仮に</b>事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>郷土を愛し、長年にわたり社会貢献に尽力されてきた長老への感謝の意を表す機会でもあり、事業を中止することは高齢者に対する軽率な扱いと思われる起因となることが懸念される。</p>	